



千本鳥居に行ってみた!! ～千本鳥居のみりょく～

根津神社にある乙女稲荷神社には、千本鳥居という有名な場所があります。皆さん知っていますか？鳥居の数を数えたところ、約170本もありました。ではなぜ名前に千本と入っているのでしょうか。不思議ですね。千本ということばには、たくさんという意味もあるようです。千本鳥居の近くの池は水がすんでいて、カメやコイもすめ、外国人にも人気です。みなさんも、千本鳥居を見にいきませんか。

小学4年 よしかわ



まつり広報 文京花めぐり

第2号「根津・千駄木下町まつり」(根津神社 / ほか9か所のサブ会場)

発行 文京区観光協会

情緒あふれる料なまち、根津・千駄木地域。2025年10月11日(土)と12日(日)に、「根津・千駄木下町まつり」が開催されました。メイン会場は、つつじの名所として知られる根津神社。まちのあちこちに設けられたサブ会場でも多彩な催しが行われ、たくさんの笑顔にぎわい

ました。開催2日目には、文京区内の小学生13人が子ども記者として取材に挑戦。自分の目と耳で“まつりの魅力”を探しました。今回のまつり広報『文京花めぐり』第2号では、そんな子ども記者たちが見つけたまつりの見どころや、人のぬくもりをいきいきと紹介します。



ふつうの紙しばいとはちがう!? 根津銀座通りの街頭紙しばい

根津銀座通りで街頭紙しばいをはじめて見ました。お話を読んでくださった佐藤さんに話を聞いてみると、ふつうの紙しばいは、音読するための文字があるのに、街頭紙しばいにはない、と言います。なぜなら、その場その場で少しだけ言葉をかえるためでもあるし、サイレンなどの音をお話に取り入れながら読んでいるからだそうです。ぜひみなさんも街頭紙しばいを聞きに行ってみてください。



小学4年 いとう



笑顔がたくさん!下町まつりで 出会ったしおみミュージカル

約50人の観客に見まわれている中、低学年と高学年でダンスをひろうした、しおみミュージカルの人たち。元気いっぱいの笑顔とダンスを見せてくれました。しおみミュージカルの方は、みんなで楽しみながら練習することを大切にしているそうです。地元の人たちに向けて、みんな笑顔でおどるので、たくさんおうえんしてほしいと言っていたので、みなさんもぜひ、しおみミュージカルのおうえんを見て、たくさんおうえんしてあげてください。

小学4年 よこづか

根津神社のいい特ちょう

根津神社で一番のみどころは神社の中に入った所の門のまわりにある昔のマークや、いろいろな形や色のたて物や、昔の人の像があるところ。中には拝殿(はいでん)があって、みんなコインをいれておいのりをしている人もいます。拝殿の横にはきれいな池があって、その中にはカメやきれいな色のコイがおよいでいます。そのまわりには木や花や葉っぱや鳥や実があり、まつりにきた人も自然を楽しんでいました。

小学4年 たかざわ



取材日
10/12(日)
天気

物産展の様子をしっかりと記録!

笑顔で呼び込み! 津和野町の物産店に迫る

多くの人々が集う下町まつり。会場に入ってまず目に飛び込んできたのは、島根県の物産店でした。店員さんに一番人気の商品を聞いてみると、源氏巻という昔から人気な茶菓子をオススメして頂き、実際に試食してみると、中に入っている餡子がなめらかで、銅鑼焼きのような食感でした。他の商品も見えてみると、季節の栗や芋を使っている、風情を感じられていいなと思いました。商品の味に加え、店員さんも優しく、来年も行きたいなと思いました。

小学5年 ちば

たくあんが人気!根津弥生 七ヶ町の出店者に聞いてみた!

この店は、4～5人くらいで出店していました。さっそく人気の商品を聞いてみたら、福神漬とたくあんが人気だそうです。そのほかに売っているものを聞いてみると、ハンカチやビーズのゆびわなどが売っていました。これらは、毎年商品を変えているそうです。どういう人がこの商品を買っているかも聞いてみると、わかいカップルや男の人が買ったりしていたと言っていました。元気に声かけをいっぱいしててすごかったです。

小学4年 さとう(ま)

いろんな物が売ってる フリーマーケット

40店舗以上の出店者が売る商品は、ぬいぐるみ、くつ、しょっきなどの商品です。そこで、あるお店の出店者に「出店しようと思った理由は何ですか?」と聞くと、お母さんが、つかわないものを有効活用しようと言ったので、はじめたそうです。ところでフリーマーケットという名前の由来は、フランスの「蚤(のみ)の市」からだそうです。のみのような古い物や、のみのようにたくさんの人が出てくるという意味です。ぜひみなさんもフリーマーケットで買い物をしてみてください。

小学4年 なかざわ



根津・千駄木 下町まつりについて

僕は、根津・千駄木下町まつりの関係者に話をきいてきました。僕が印象に残っていることは2つあります。1つ目は、地域の人たちが協力してくれていることです。なぜかという、地域の人たちと、お祭りを運営している人がお互いに協力したら、時間がかからないし、あと、みんなで行った方がもっと良いからです。2つ目は、外国人用のパンフレットです。運営の人にきいたら、すぐになくなったと言っていました。

小学5年 たまみつ



実行委員の方にインタビューを行う子ども記者

根津・千駄木下町まつりの裏側、 調査してみた!!

約10万人が2日間にくる、根津・千駄木下町まつりでは、いつから祭りの準備をしているのでしょうか。「約1年前から準備し始めます」と、まつり実行委員会の方は語ります。うちあわせは約3回行い、去年よりもさらに最高のまつりにしようと日々がんばっています。また、外国人への取り組みとして多国語の言葉のパンフレットも作成しているようです。まつり実行委員会の努力が詰まった、根津・千駄木下町まつりにぜひ来てください!

小学6年 ないとう

編集後記

『文京花めぐり』第2号では、「根津・千駄木下町まつり」を特集しました。まつりのにぎわいや地域の温かさ、伝統の息吹が少しでも読者の皆さんに伝わっていればうれいします。取材に参加した子どもたちは、初めてのインタビューにも意欲的に取り組み、楽しそうに活動してくれました。その姿は、まちの魅力を発信するプロジェクトの原動力です。次回、第3号のテーマは「文京梅まつり」(2月)。花の香りとともに、子どもたちの視点でまつりの魅力をお届けします。どうぞお楽しみに!



まつりの魅力を発信する、子ども記者チーム!

藍染大通りで絵はがきや グッズをはん売している女の子!

グッズをはん売している女の子はとても小さく、小学2年生!その子の名前は、かずほちゃんといい、家ごとくといっしょにがんばっている。かずほちゃんの家ごとくは、かずほちゃんが絵を書くことが大好きなのをしていて、絵はがきを作るところから始めていたそうです。かずほちゃんの家ごとくは、かずほちゃんのゆめを応援してくれています。みなさんも自分のゆめを応援してくれる家ごとくに一度たよってみてはどうでしょうか?

小学4年 かねだ

ベーゴマやけん玉の おもしろさにただ今夢中!

みなさんは昔遊びのおもしろさと楽しさを知っていますか。ベーゴマやけん玉はあきらめずにやることのできるおもしろさがあります。出店者さんによると、ビデオゲームでない昔からの遊びを味わってほしくて出店し、はじめはベーゴマやけん玉だけで本当によこんでくれるのか心配していました。しかし、子供たちが目をかがやかせているすがたを見て出店してよかったなと思えたそうです。私は昔遊びは努力して成功するおもしろさがあると思いました。

小学4年 さとう(し)